

## 支援基金だより

Vol.12  
2025 Jan.

### 物価高で苦しむ学生を笑顔に! 「100円ごはん」を販売

島根大学では令和6年11月の1か月間、物価高で苦しむ学生を支援するため、100円ごはんを学食で販売しました。この100円ごはンは通常550円相当の定食を学生に100円で販売し、差額の450円は島根大学支援基金にいただいたご寄附から支援しております。みなさまのご支援により、多くの学生が100円ごはんを食べ、笑顔で学生生活を送ることができておりますことに感謝申し上げます。



#### 値上げの波は学食にも・・・

コロナ禍から続く円安、物価高騰、さらには“令和の米騒動”と呼ばれる米不足による影響を受け、学食も値上げせざるを得ない状況となっています。

学食の値上げは、当然のことながら学生たちの食生活に大きな影響を及ぼします。こうした状況を受け、今回で3回目となる100円ごはんの販売を決めました。

前回の100円ごはんでは通常450円の定食を100円で販売しましたが、学食の値上げを考慮しつつ、学生にしっかり栄養を摂ってもらうため、今回は通常550円の定食を100円で販売することとしました。

#### 松江:100円朝食、出雲:100円夕食

松江キャンパスでは、学生に朝食を食べる習慣をつけてもらいたいという気持ちを込めて、前回に引き続き朝食時間帯に100円ごはんを販売しました。

出雲キャンパスでは、朝食時間帯に学食が営業していないことから、前は昼食時間帯に100円弁当を販売していました。しかし、学生からは「授業時間内に行かないと売り切れていることが多いので困っています」などの声がありました。このため、今回は比較的どの学生も利用しやすい夕食時間帯に100円ごはんを販売しました。

#### しっかり食べて勉強を頑張ります!

みなさまからのご支援により6,098食の「100円ごはん」を学生に届けることができました。

両キャンパスともほぼ連日完売となり、学生からは「しっかり食べて勉強を頑張ります」、「友達と一緒にごはんが食べられることがうれしい」という声が寄せられました。

#### 食費が増えたので食事の回数が減った

一方で、100円ごはんを購入した学生に行った物価高騰の影響を確認するアンケートでは、「食費が増えたので食事の回数が減った」、「少しでも節約できるように食費を削っていた」、「食費が上がって、バランスのいい献立がうまく立てられない」、「普段気軽に買っていた商品も値上がりで、今回は買うのをやめようと控えたり、特に現在はお米の値段が高いのに困っています」といった声があがりました。

こうした学生たちを継続的に支援するため、今後もみなさまからいただいたご寄附を有効に活用させていただきます。引き続き、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 「100円ごはん」を購入した学生からの感謝のメッセージ

❖朝から栄養バランスの取れた食事をとることが出来て、しかもワンコインというお値段で食べることが出来るのはとてもありがたいです。物価高騰で困っているのは同様であるのに、ご寄附して頂きありがとうございます。

.....(法文学部 3年)

❖100円ご飯のおかげでお腹いっぱいご飯を食べることが出来ました。ありがとうございました。野菜不足だったりバランスよりもお腹に入れることが優先になったりしていたので食堂できちんと食べれて本当にありがとうございました。

.....(医学部 1年)

❖朝から健康的なごはんを食べられて、とっても幸せな一日の始まりに出来ました!100円朝ごはんを食べるために友だちと朝集まってお喋りをするのも楽しかったです!ありがとうございました😊

.....(材料エネルギー学部 1年)

❖100円朝ごはんを2回利用させていただきました!100円にもかかわらずボリュームで、満腹になりました!ありがとうございました!

.....(教育学部 2年)

❖100円のおかげで朝食を食べようと思うことができました。健康的な朝を迎えられています。ありがとうございます。

.....(人間科学部 1年)

❖昨年度も利用しましたがとても素敵な企画だと思います。寄附して下さった方々にこの場をお借りして、深い感謝を示したいと思います。本当にありがとうございます。

.....(総合理工学部 2年)

❖物価高騰が続く中、このような支援をいただき、ありがとうございます。私も辞讓の心を忘れずに生きていきたいと考えております。

.....(生物資源科学部 4年)

こちらをご覧ください▶

島根大学学生による取材記事  
「100円朝食 実食レポ in松江キャンパス」



## 支援を受けた学生の声(令和6年度次世代たたら奨学金受給学生)

本学では、金属材料分野における高度人材の育成と研究拠点づくりのため、「次世代たたら協創センター」を設置しています。支援基金使途Dにいただいた寄附金による「次世代たたら奨学金」は、この分野の学生の研究等支援や英国オックスフォード大学への研究渡航等を支援しています。今回はその「次世代たたら奨学金」を受給し、オックスフォード大学へ約1週間留学した2人の学生の体験記事をご紹介します。

.....自然科学研究科 2年 竹元 光明さん

私はイギリスのオックスフォード大学に1週間派遣させていただき、航空機ジェットエンジンに使用されるNi基超合金Waspaloyについて研究を行いました。研究では、表面測定技術を用いた圧痕塑性試験(PIP法)を用いることによって、熱処理の温度条件がWaspaloyの組織や機械的特性に対して与える影響を調べました。研究活動を通じて国際的な研究者と交流し、英語で自分の考えを伝える難しさを実感しました。しかし、研究結果のプレゼンテーションを行う中でアカデミックな議論ができた時に達成感を感じ、英語に対する抵抗感はなくなりました。今回の派遣を通じて、研究の視野を広げるとともに国際的な研究環境でのコミュニケーション能力も養うことができたと感じています。今後はこの経験を活かして研究成果の発展を目指し、英語での論文執筆を進めたいと考えています。今回ご支援くださった皆様にはこの場を借りて、心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

.....自然科学研究科 1年 福田 英さん

私は令和6年8月の約1週間、イギリスのオックスフォード大学に留学しました。留学中は、現地の学生とお互いが行っている研究について話をしたり、教育面や生活面での文化の違いを感じることができました。また、一緒に実験した結果についてプレゼンテーションで報告を行い、限られた時間の中で仕上げたという達成感を感じられました。特殊な実験装置や大規模な加速器の研究所を見学することもでき、海外の学生がどのように研究に取り組んでいるのかを目の当たりにして、大きな刺激を受けました。

日々の研究が世界と繋がっていると感じる事ができ、帰国してからの研究により一層励むことができています。この留学に挑戦できたことが私にとってかけがえのない経験となりました。皆様からのご支援により、貴重な機会を得ることができました。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



オックスフォード大学研究室で研究をしている光景  
(手前が福田さん、右奥が竹元さん)